



2023年9月29日

各位

会社名 株式会社まぐまぐ
代表者名 代表取締役社長 松田 誉史
(コード番号: 4059 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 CFO 浅野 匡志
(TEL. 03-5719-5703)

業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2023年9月期決算において特別損失を計上するとともに、2023年8月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 2023年9月期通期(累計)業績予想数値の修正(2022年10月1日~2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 478	百万円 △75	百万円 △75	百万円 △60	円 銭 △21.47
今回修正予想(B)	478	△77	△77	△467	△166.24
増減額(B-A)	△0	△1	△1	△407	—
増減率(%)	△0.1	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2022年9月期)	572	9	9	4	1.73

2. 修正の理由

売上高、営業利益および経常利益につきましては、プラットフォーム事業およびメディア広告事業の業績が予定通りに推移しているため、ほぼ前回発表予想と変わらない見通しとなりました。

一方で、固定資産(ソフトウェア)の減損損失約378百万円を特別損失として計上する見込みとなったため、当期純利益につきましては、前回発表予想を下回る見通しとなりました。

3. 特別損失の計上について

プラットフォーム事業およびメディア広告事業への資本投下を行ってまいりましたが、競争の激化、外部環境の変化により、当初想定していた利用者の獲得が困難な状況になり、資本投下先とROIを求める方向転換の検討をすることといたしました。この状況を鑑みて、両事業に係る固定資産(ソフトウェア)について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づいて将来の回収可能性を検討し、将来の収益見込みなどを勘案した結果、2023年9月期において、帳簿価額のうち回収不能と見込まれる約378百万円について減損処理し、特別損失として計上する見込みとなりました。

今後の見通しにつきましては、償却コストの軽減が寄与することに加え、開発は体制を縮小しつつも継続するとともに、WEBメディアのタイアップ広告強化や新メディアの設立、M&Aへの資源投入を通じて、両事業における収益性は大幅に改善する見込みとなっております。

※上記の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

以上